TOSHIBA
Leading Innovation >>>

ピコデ除菌で清潔な加湿

回転方式を新採用
抗菌ロータリー気化フィルター

抗菌ガラスでトレイ内の水を除菌

温度と湿度のWセンサーで
おまかせ自動加湿コントロール

ハイブリッド式の風と温風で
快適加湿

フラボノイドエアフィルター搭載



東芝加湿器 温風気化／気化式（家庭用）

取扱説明書

形　名
KA-G80DX
KA-G60DX

保証書付
保証書はこの取扱説明書の20ページについておりますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびは東芝加湿器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

特長（知っておいてほしいこと）

- きれいな空気と水で加湿
- ピコデ除菌ユニットでカビ菌や臭いを抑制します。
- 抗菌ロータリー気化フィルターで４シーズンの長寿命
- 抗菌処理でフィルターの菌の繁殖を抑えます。
- 抗菌ガラスでトレイ内の菌の繁殖を抑え、きれいな水を供給します。

フラボノイドエアフィルター

イチョウ葉エキスを加工した２つの働きのあるフィルターです。

1．ウイルスの抑制

エアフィルターで捕集したウイルスの活動を抑制します。

ウイルスの抑制処理を行っている対象部分の名称	フラボノイドエアフィルター
試験機関	大阪府立公衆衛生研究所
試験方法	ウイルスに対する効力試験
ウイルス抑制の方法	エアフィルターにウイルス抑制加工

2．除菌

エアフィルターで捕集した菌の繁殖を抑制します。

除菌・抗菌を行っている対象部分の名称	フラボノイドエアフィルター
試験機関	日本食品分析センター 第 104040527-001 号
試験方法	JIS Z 2801 法準拠
抗菌・除菌の方法	エアフィルターに抗菌加工

吹き出す風は暖かくないことがあります

温風気化時でも、気化フィルターで水が気化するときには熱が奪われるので、吹き出す風は暖かくないことがあります。

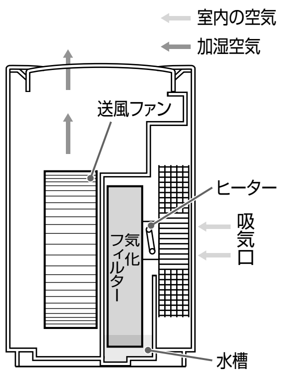
ピコデ除菌について

ピコデ除菌ユニットの電極ピンに高電圧をかけることにより、電極ピン先端に集まった水を微細化させ、空気中に放出し、除菌・脱臭・アレル物質の抑制を行います。

ハイブリッド式（温風気化／気化式）

この製品は、水を含ませた気化フィルターに風をあて加湿する「気化式」と温風をあてる「温風気化式」のハイブリッド式です。

加湿し始めは「温風気化式」ですばやく加湿し、設定湿度に達すると自動的にヒーターを使わない「気化式」に切り換えて加湿しますのでスチームファン式とくらべ省電力です。



蒸気や霧は見えません

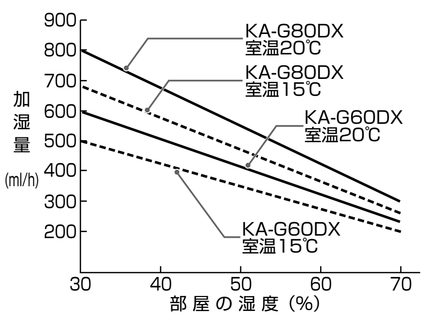
気化フィルターに風をあてて湿った空気を送り出す加湿方式のため、スチームファン式や超音波式のように蒸気や霧は見えません。

室内の湿度や温度の条件により加湿量が変わります

雨の日などの湿度が高いときや、室内の温度が低いときは、水が気化しにくいため加湿量が少なくなります。（タンクの水の減り方が遅くなります）
また、室内の湿度が低いときは加湿量が多くなります。（タンクの水の減り方が速くなり、連続加湿時間が短くなります）

部屋の湿度と加湿量

室温 20℃、湿度 30％、連続運転時タンク満水で KA-G80DX で約５時間、KA-G60DX で約６時間 40 分運転できます。



安全上のご注意 必ずお守りください

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷＊1 を負うことが想定されること」を示します。
⚠注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害＊2 を負うことが想定されるか、または物的損害＊3 の発生が想定されること」を示します。

＊１：重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

分解・修理・改造をしない（分解禁止）
火災・感電・けがの原因になります。
高電圧発生装置を内蔵しています。修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない（無理な扱い禁止）
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

水につけたり、水をかけたりしない（水ぬれ禁止）
ショート・感電の原因になります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使わない（禁止）
感電・ショート・発火の原因になります。

電源は交流 100V で定格 15A 以上のコンセントを単独で使う（交流 100V のコンセントを単独で使う）
交流 100V 以外で使ったり、コンセントを他器具と同時に使ったり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。

同じ場所で長期間ご使用の場合は、製品下部や床を時々清掃する（時々清掃する）
水がこぼれたまま放置した場合、床を腐食する原因になります。

運転停止直後（約 10 分間）はヒーター周辺に手を触れない（禁止）
運転時、内部ヒーターが加熱されていますので、やけどやけがの原因になります。

不安定な場所には置かない（禁止）
転倒すると水がこぼれます。

吹出口・吸気口やすき間にピンや針金など、異物を入れない（禁止）
感電や異常動作してけがをすることがあります。

（つづく）

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

プラグを抜く

異常時（水もれ、コゲくさい臭いなど）は運転を停止して電源プラグを抜く
異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。

プラグを抜く

**お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
感電やけがをすることがあります。

禁 止

本体のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤は使わない
洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。

禁 止

使用中や使用直後（運転停止後約10分間）は、お手入れをしない
高温部に触れ、やけどの原因になります。

禁 止

幼児の手の届くところで使わない
やけどの原因となります。

ほこりを取る

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でふき取る
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

根元まで差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電・ショート・発火の原因になります。

禁 止

トレイ内の水を飲まない、飲ませない
体調不良の原因になります。

トレイを傾け排水する

トレイ内の水を排水するときは、本体から直接排水せず、タンクを取り出してからトレイをはずし、気化フィルターをはずして、トレイを傾け排水する
本体から直接排水した場合、本体内部に水が回り込んで、感電・ショート・発火の原因になります。

⚠注意

プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、感電やショートして発火することがあります。

プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

禁 止

加湿された風が家具・壁・カーテンなどに直接あたるところには置かない
しみが付いたり、変形することがあります。

ゆっくり運ぶ

移動するときは運転を止め、タンク・トレイの水を抜いてから、ハンドルを持って、傾けないようにしてゆっくり運ぶ
水がこぼれて床をぬらす原因になります。
傾けたりゆすったりしないでください。

⚠注意

禁 止

使用中やタンク・トレイに水を入れたまま、持ち運ばない
水がこぼれる原因になります。

禁 止

吸気グリル、エアフィルター、ピコデ除菌ユニットなどをはずしたまま運転しない
感電やけがの原因になります。

禁 止

本体内部には直接水を入れない
ショート・感電の原因になります。

禁 止

水もれしたときは、使用しない
感電の原因になります。

禁 止

暖房機・テレビなどの電化製品の上や、熱に弱いテーブルなどの上で使わない
転倒すると感電・ショートの原因になります。また、本体底部の熱により変色したり、変形の原因になることがあります。

お手入れをする

タンクの水は毎日新しい水道水と入れかえ、本体内部を常に清潔に保つよう定期的にお手入れする
お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。体質によっては、過敏に反応し、健康によくないことがあります。この場合は医師に相談してください。

お願い

吹出口や吸気口をふさがない
吹出口や吸気口をふさぐと変形や故障の原因になります。

凍結のおそれがあるときは、タンクとトレイの水を捨てる
凍結すると故障の原因になります。

水道水（飲用）以外は使わない
40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・汚れた水・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水・ミネラルウォーターなどを入れると、変形や故障の原因になります。

直射日光の当たるところや暖房機の近くに置かない
- タンク内の空気が膨張し、水があふれることがあります。
- プラスチック部分が変形、変質することがあります。

タンクハンドルを持ってタンクを振りまわさない
タンクの破損、割れ、水もれ等の原因になります。

湿度の高いところ（85%以上）では使わない
- 加湿のしすぎは、室内の結露やカビが生える原因になります。
- 故障の原因になります。

温度・湿度を正しく検知するために、次のようなところで使用しない
- 直射日光やエアコン・暖房機の温風が当たるところ
- 窓際など外気の影響を受けやすいところ
- 室内の温度が0～35℃でないところ

タンクを落下させたり衝撃を加えたりしない
タンクの破損、割れ、水もれ等の原因になります。

電磁調理器やスピーカーの近くなどの磁気の多いところに置かない
正常に動作しないことがあります。

使わないときはタンクとトレイの水を捨てる
水を入れたまま放置するとカビや雑菌が繁殖しやすくなります。

長期間ご使用にならないときは、電源プラグを抜いてください
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

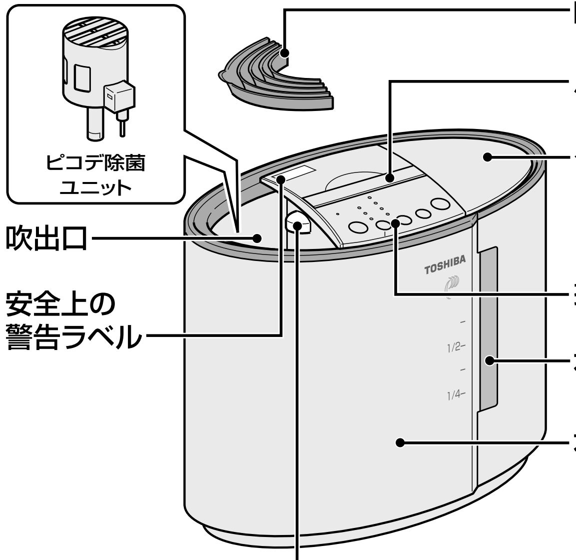
お手入れはこまめに行う
お手入れをせずに使い続けると、本体内部に水あかなどが付着してとれにくくなります。

ハンドルで指をはさまない
ハンドルを下げるとき本体との間に指をはさまないように注意してください。

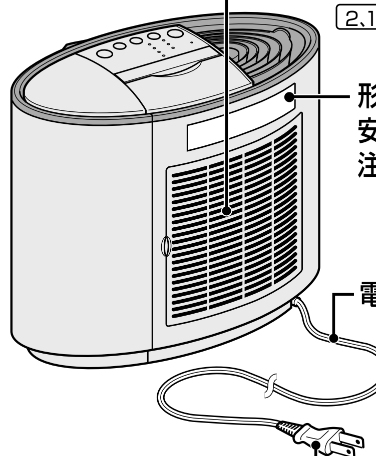
室内の湿度ムラをなくす
床付近と天井付近では温度・湿度が異なります。
サーキュレーター・エアコンなどを使って、室内の空気を循環させてください。

各部のなまえとはたらき

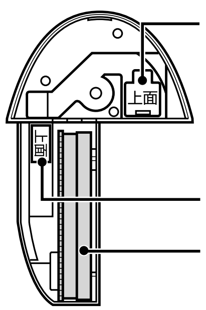
正 面

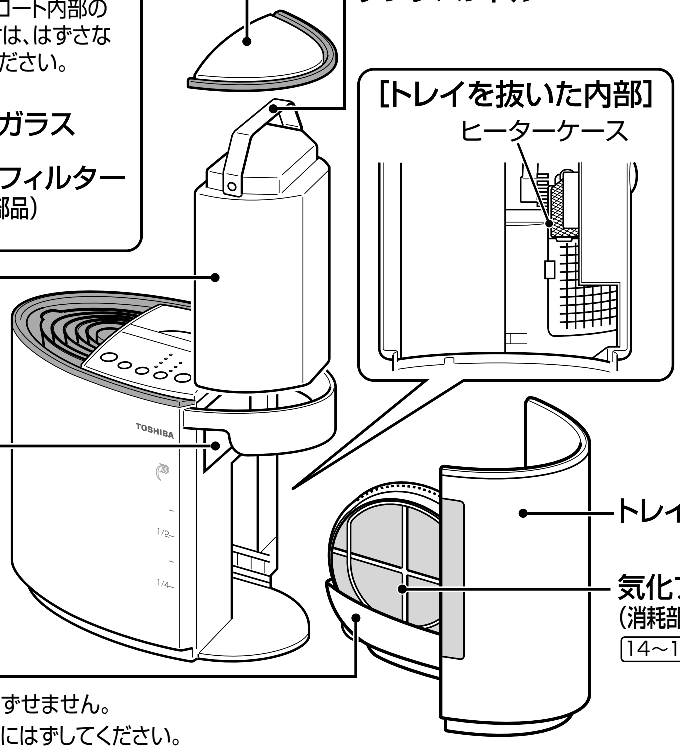


背 面



トレイ内部 [上から見た図]





トレイ
タンクをはずさないとトレイははずせません。
トレイをはずすときはタンクを先にはずしてください。

操作部

※ KA-G80DX のイラストで説明しています。

切タイマーランプ
切タイマーが動作中に点灯
11 ページ

ピコデ除菌設定ランプ
ピコデ除菌運転時に点灯
9・11 ページ

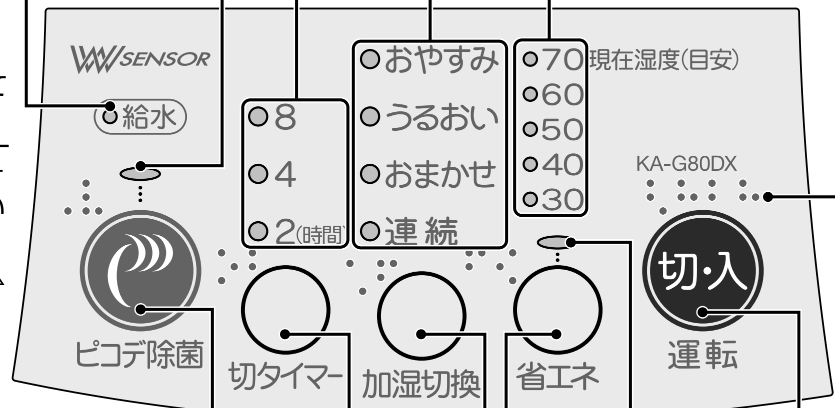
給水ランプ
- タンクの水がなくなると点灯
- タンクハンドルが確実に倒れていないときと、吹出口ルーバーが確実に取り付けられていないときに点滅

9~10 ページ

加湿モードランプ
- 選択した加湿モードが点灯 9~10 ページ
- 気化フィルター、トレイが確実に取り付けられていないときは、連続ランプが点滅
(気化フィルターが回転していないとき)

湿度サイン(目安)
お部屋の湿度の目安をお知らせ
8 ページ

点字



ピコデ除菌運転スイッチ
ピコデ除菌運転の「切」「入」 9・11 ページ

切タイマースイッチ
設定した時間(2時間、4時間、8時間)を運転した後自動的に停止
11 ページ

加湿切換スイッチ
加湿モードを選ぶ
「連続」→「おまかせ」→「うるおい」→「おやすみ」の切換え
9~10 ページ

運転スイッチ
加湿運転の「切」「入」
9 ページ

省エネ運転ランプ
省エネ運転時に点灯
11 ページ

省エネ運転スイッチ
省エネ運転の「入」「切」 11 ページ

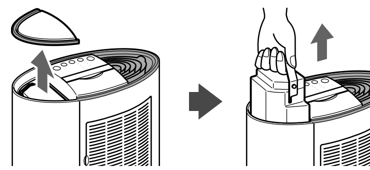
● 各スイッチの近くに点字が付いています。

スイッチ名称	ピコデ除菌	切タイマー	加湿切換	省エネ	運転
点 字					
読みかた	ピ	タイ	カエ	エコ	キリイリ

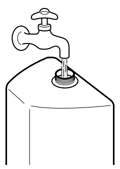
使いかた

本体の準備

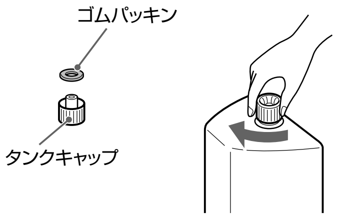
タンクに水を入れる



1. タンクふたをはずし、タンクハンドルを持って タンクを取り出す。
2. タンクを逆さまにして、タンクキャップをはずし、口元まで水道水を入れる。



3. ゴムパッキンがタンクキャップの内側の溝についていることを確認する。
タンクキャップをしっかりしめる。
   - 水もれがないか確認してください。
   - タンクについた水はふき取ってください。



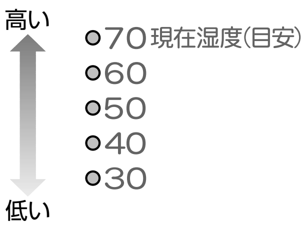
4. タンクを本体にセットし、タンクふたを取り付ける。
   - タンクハンドルがカチンと音がするまで倒してあることと、吹出口ルーバー、トレイが本体にきちんとはまっていることを確認してください。10ページ

お願い

- お湯（40℃以上）や汚れた水・化学薬品・芳香剤・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水・ミネラルウォーターなどを入れないでください。
- 本体には直接水を入れないでください。
- 室温の低い部屋から高い部屋に加湿器を移動させたとき、また温度の低い水を利用したときにタンクの表面が結露する場合があります。このような場合はふき取ってください。
- タンクを落下させたり、衝撃を加えたりしないでください。タンクの破損、割れ、水もれ等の原因になります。

湿度サイン（目安）の表示

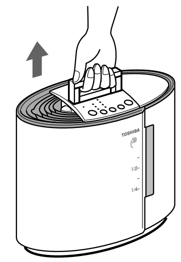
ランプの点灯でお部屋の湿度（目安）を表示します。



- 湿度サイン表示は目安です。
同じ室内でも場所により湿度が異なるためお部屋の湿度計と差が出ることがあります。
- 加湿運転中以外は表示しません。
- 使いはじめは本体内部の結露などで高い湿度表示になることがあります。
（30分以上運転すると徐々に室内湿度に近づいてきます）

持ち運ぶときは

タンク、トレイの水を抜いてから、ハンドルを持って、傾けないようにゆっくり運んでください。



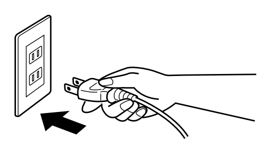
水を抜かずに持ち運ぶと傾いたとき、水がこぼれることがあります。

お願い

- 水平な安定した場所に置いてお使いください。本体が転倒すると「ピー、ピー、ピー…」というブザー音が鳴り、湿度サインが点滅して運転が止まります。電源プラグを抜いてから、本体をおこしてこぼれた水をふき、本体が乾いてから使用してください。

加湿運転のしかた

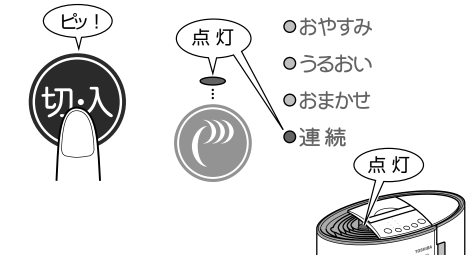
1 電源プラグをコンセント（交流 100V）に確実に差し込む



2 切・入 を押す

▶ 加湿モードランプの連続ランプ、ピコデ除菌ランプ、ピコデ除菌設定ランプが点灯し、「連続運転」を開始します。

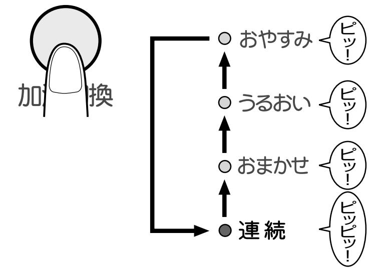
- 運転スイッチを押すと、加湿（連続）と同時にピコデ除菌運転も開始します。
- 「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とブザーが鳴り、給水ランプが点滅したときは、10ページの「エラー検知について」をご覧ください。



加湿モードを連続以外にするときは

加湿切換 を押す

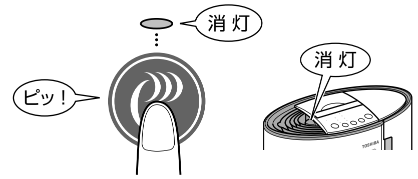
▶ 選んだランプが点灯し、加湿を開始します。



ピコデ除菌運転を止めるときは

（ピコデ除菌ボタン） を押す

▶ ピコデ除菌ランプ、ピコデ除菌設定ランプが消灯しピコデ除菌運転を停止します。

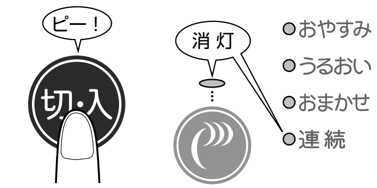


3 運転を止めるときは

切・入 を押し「切」にする

▶ 設定した加湿モードランプが消灯し、ピコデ除菌運転していれば、ピコデ除菌ランプ、ピコデ除菌設定ランプが消灯します。

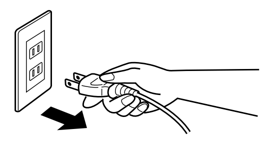
- 約 60 秒間送風後停止します。



4 電源プラグを抜く

お願い

- 運転を停止してから 60 秒以上たってから電源プラグを抜いてください。



タンクに水がなくなると

自動的に運転を停止し、給水ランプの点灯と「ピー、ピー、・・・」と5回のブザー音でお知らせします。



続けて使うとき

タンクに水を入れて本体にセットしてください。給水ランプが消灯し、自動的に再運転します。

お知らせ

- タンク満水で KA-G80DX で※約 5 時間、KA-G60DX で※約 6 時間40分、運転できます。(連続運転、室温 20℃、湿度 30%時)
※室内の温度、湿度により時間は変わります。

（つづく）

使いかた（つづき）

加湿切換について

● **お部屋が乾燥していると感じたときは、「連続」に切り換えてください。**

お部屋の湿度に関係なく連続して加湿します。
ピコデ除菌も運転します。

● **のどやお肌の乾燥が気になるときは、「うるおい」に切り換えてください。**

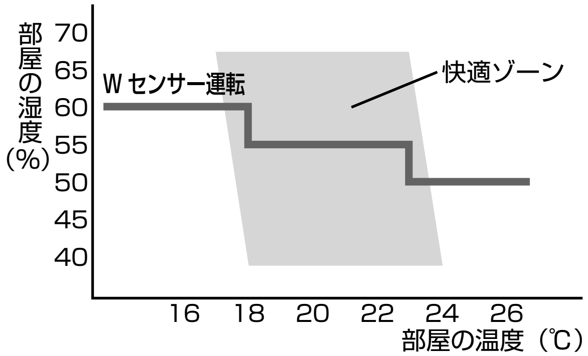
少し高めの湿度で湿度コントロールします。

● **おやすみのときなど、静かに運転したいときは、「おやすみ」に切り換えてください。**

弱風で静かに運転します。
（加湿量は少なくなります）

● **快適な湿度を保ちたいときは、「おまかせ」に切り換えてください。**

温度と湿度の W センサーがお部屋を快適な湿度に保ちます。



お知らせ

- 本製品は適用床面積を湿度約 60%に維持する製品です。［JEM 1426 必要加湿量の目安による］
  適用床面積以内でも湿度約 60%に維持できない場合がありますが、異常ではありません。
  KA-G60DX：木造和室 17m² ［10 畳］プレハブ洋室 27m² ［17 畳］
  KA-G80DX：木造和室 22m² ［13.5 畳］プレハブ洋室 37m² ［22 畳］
- 同じお部屋でも空気の流れが良いところと悪いところでは湿度が異なることがありますので、お部屋の湿度計と本製品の湿度コントロールが異なる場合があります。
- おまかせ · うるおい運転の場合、お部屋の湿度に関係なく、運転開始から 3 分間は強風で加湿し、その後、自動湿度コントロールを行います。なお、運転開始から 3 分未満であっても、加湿モードを切り換えた場合は、すぐに自動コントロールを行います。
- 風量も強、弱、2 段の自動調節を行います。
- 給水ランプが点灯または点滅しているときは運転スイッチ以外の操作は受け付けません。
  給水してから操作してください。
- 運転スイッチを「切」にしたあと電源プラグを抜かずに「入」にするとメモリー機能により、「切」にする前の加湿モードになります。（ただし、切タイマー、省エネ運転は記憶されません）
- 停電後や電源プラグを差し直したときは、「連続運転」になります。

エラー検知について

下記のようなときは、運転できません。（運転中は運転を停止します）

「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とブザーがなり、給水ランプが点滅しているとき

- **タンクハンドルが確実に倒されていません。**
  タンクハンドルを確実に倒してください。
- **吹出口ルーバーが確実に取り付けられていません。**
  吹出口ルーバーを確実に取り付けてください。



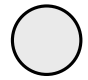
「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とブザーがなり、加湿モードランプの連続ランプが点滅しているとき

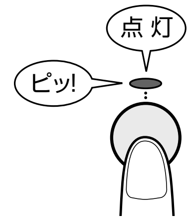
- **気化フィルター、あるいはトレイが確実に取り付けられていません。**
  気化フィルター、トレイを確実に取り付けてください。



省エネ運転のしかた

省エネ運転は、ヒーターを使った「温風気化式」による加湿をせず、気化フィルターに風をあて加湿する「気化式」のみの運転になります。電気代をおさえて、加湿したいときに使います。

運転中に  **を押す**



▶ 加湿モードランプが消灯、省エネ運転ランプが点灯し、省エネ運転に切り換わります。

- 省エネ運転を止めたいときは運転スイッチを押すか、加湿切換スイッチを押してください。「切」状態または、省エネ運転をする前の加湿モードで運転します。
- 省エネ運転は、メモリーされません。運転停止後、電源プラグを抜かずに「入」にした場合、省エネ運転を解除し、省エネ運転をする前の加湿モードになります。

形名	KA-G80DX		KA-G60DX	
運転	省エネ運転	連続運転	省エネ運転	連続運転
消費電力（W）	30	390	30	275
加湿量（ml/h）	約 480	約 800	約 390	約 600

ピコデ除菌運転について

加湿運転中、ピコデ除菌運転を停止するとき

 **を押す**

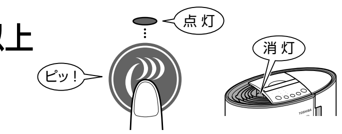


▶ ピコデ除菌ランプとピコデ除菌設定ランプが消灯します。

- 再び運転したいときは、もう一度ピコデ除菌運転スイッチを押してください。
- 運転スイッチを「切」にし、再び「入」にした場合は、ピコデ除菌運転を開始します。

おやすみ時などに、ピコデ除菌ランプだけ消灯しピコデ除菌運転を続けるとき

 **を 3 秒以上押す**

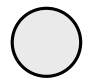


▶ ピコデ除菌ランプが消灯します。

- 再び点灯したいときは、もう一度ピコデ除菌運転スイッチを 3 秒以上押し続けてください。

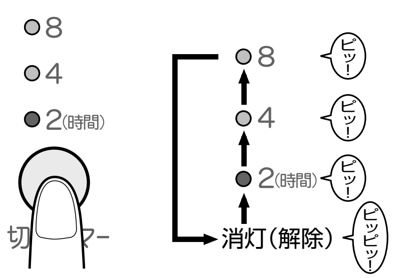
切タイマー運転のしかた

設定した時間を運転したあと自動的に停止します



を押し、タイマー時間を設定する（2 時間、4 時間、8 時間の設定ができます）

- 時間の経過とともに切タイマーランプが切り換わり、残りの運転時間を示します。
- 押すたびに切タイマーランプが右図の順序で点灯します。



設定時間が経過すると、自動的に運転を停止します。

お願い

- タイマー時間を変えたいときは切タイマースイッチを押してお望みの時間に合わせてください。新たに合わせた時間からタイマーが動作します。
- 切タイマー運転をする場合、タンクの水量を確認してください。水量が少ないとタイマーが切れる前に水がなくなり、運転を停止して給水ランプが点灯します。
- 給水ランプが点灯しているときはタイマーを設定できません。給水してから設定してください。
- 切タイマー運転で 8 時間の設定をするときは、おまかせ運転、またはおやすみ運転で加湿運転してください。連続運転、うるおい運転ではタイマーが切れる前に水がなくなることがあり、給水ランプが点灯し運転を停止します。

お手入れのしかた

⚠警告

プラグを抜く **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電やけがをすることがあります。	禁止 **本体のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤は使わない** 洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。	禁止 **使用中や使用直後（運転停止後約10分間）は、お手入れをしない** 高温部に触れ、やけどの原因になります。

●使用を続けるとトレイ内部や、気化フィルター、ピコデ除菌ユニット表面に白または茶色の水あかが付着します。水あかは水道水に含まれるミネラル分が気化せず残ったものです。お手入れせずに使い続けると固まって取れにくくなり、加湿量の低下につながります。

●お手入れのしかたにしたがいお手入れをして、いつも清潔にお使いください。

手順

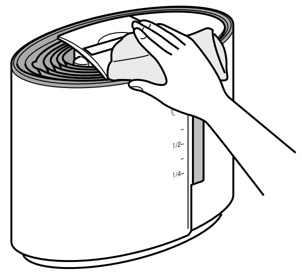
準　備
1. 電源プラグを抜く。
2. 本体内の部品を取り出す。

→ **各部のお手入れ**
●説明にしたがって各部のお手入れをする。

→ **部品をもとどおりに取り付ける**

本 体（汚れたら）

やわらかい布を水にひたしてしぼり、汚れをふき取ったあと、からぶきする。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤溶液を使って汚れをふき取ってください。



お願い

●変質・変色防止のため、ベンジン・シンナー・アルコール・アルカリ洗剤・クレンザーなどは使用しないでください。
●化学ぞうきんを使うときはその注意書に従ってください。

タンク内（2週間に1回程度）

1. タンクに残っている水を捨てる。
2. タンク内に少量の水を入れ、タンクキャップをしめて、よく振り洗いし排水する。これを２～３回くり返す。

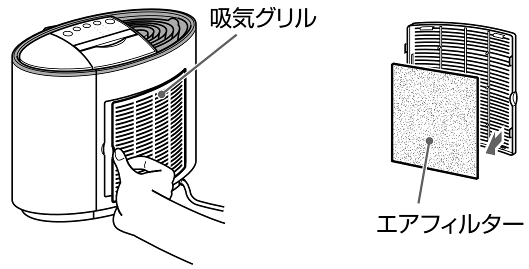


お願い

●変質・変色・傷防止のため、ベンジン・シンナー・アルコール・アルカリ洗剤・クレンザー・たわしなどは使用しないでください。
●化学ぞうきんを使うときはその注意書に従ってください。

エアフィルター（1週間に1回程度）

1 吸気グリルをはずし、エアフィルターを取り出す



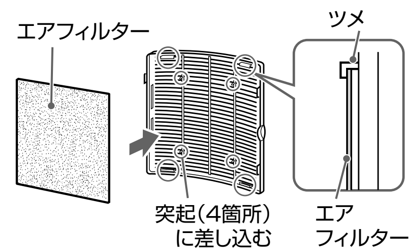
2 エアフィルターのほこりを取る

●かるくたたいてほこりを取ります。

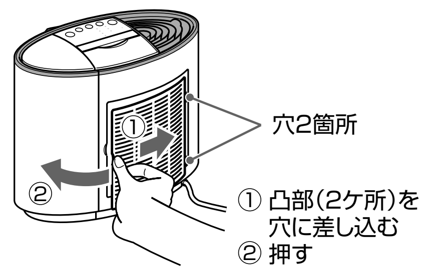
お願い

●水洗いしないでください。エアフィルターの効果が低下します。

3 エアフィルターを吸気グリルに取り付ける

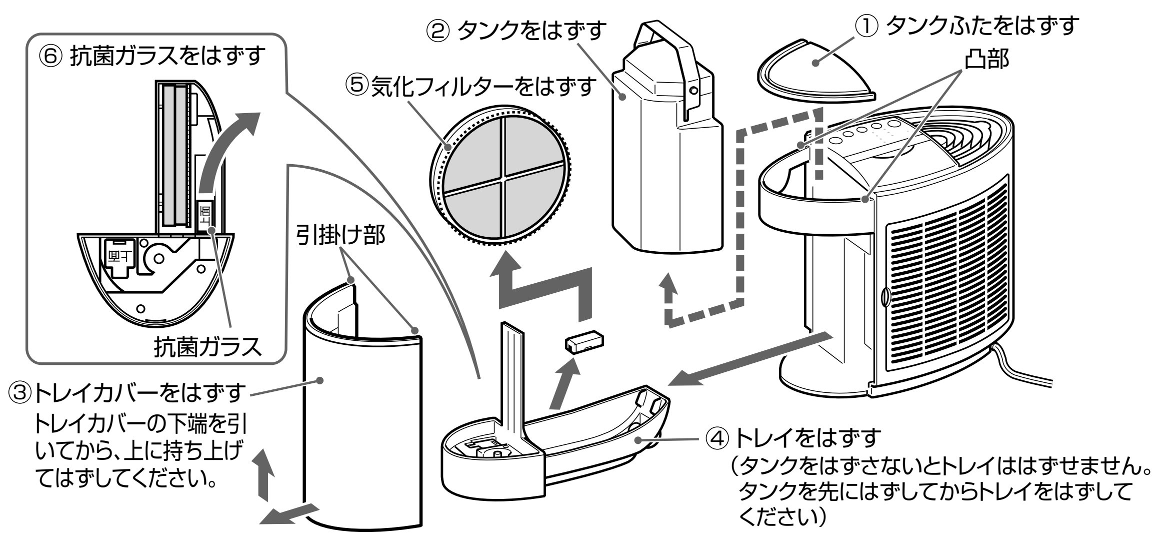


4 吸気グリルを本体に取り付ける



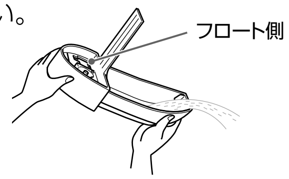
トレイ（2 週間に 1 回程度）

1 タンクふた、タンク、トレイカバー、トレイ、気化フィルター、抗菌ガラスをはずす



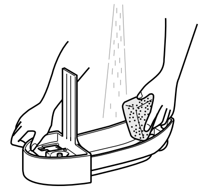
2 トレイ内の水を排水する

- 図のように傾けて排水してください。



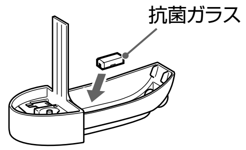
3 水あか、汚れを水にひたしたやわらかい布でふき取る

- 角などは歯ブラシで落とします。



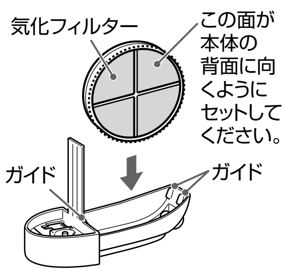
4 抗菌ガラスをセットする

- ゴミなどを洗い流し必ずセットしてください。



5 トレイにお手入れをした気化フィルターを取り付ける

- トレイにあるガイドにそって気化フィルターをはめます。
- 気化フィルターの向きに注意してください。



6 本体にトレイを確実に取り付ける

- 取り付けが不完全ですと給水ランプが点灯します。
- 気化フィルターの向きがあっていないと本体にトレイを確実に取り付けられません。

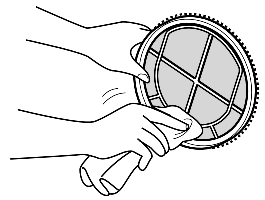
7 トレイカバー、タンクをセットし、タンクふたを取り付ける

- トレイカバーは、引掛け部を本体の凸部に入れてから、下側を押し込んでセットしてください。

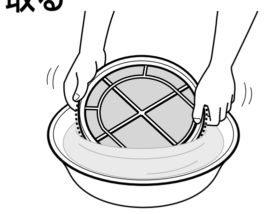
気化フィルター（2 週間に 1 回程度）

- 抗菌加工され、菌の繁殖を抑制しますが、全ての菌を抑制するわけではありません。
- 抗菌加工していても、汚れがつくと抗菌効果が落ちてしまいます。抗菌効果が長持ちするように 2 週間に 1 回程度のお手入れをおすすめします。
- 使用を続けるとトレイ内部や、気化フィルター表面に白または茶色の水あかが付着します。水あかは水道水に含まれるミネラル分が気化せず残ったものです。お手入れせずに使い続けると固まって取れにくくなり、加湿量の低下につながります。
- 使用する水道水の水質によっては、早く水あかが付着する場合があります。このような場合は早めにお手入れしてください。

1 水またはぬるま湯をひたしたやわらかい布で気化フィルターの水あか、汚れをふき取る



2 水またはぬるま湯の中でふり洗いし、汚れや水あかを落とす
ふり洗いで落ちない場合はやわらかい布でふき取る



汚れが落ちにくいとき

クエン酸洗浄

1 ぬるま湯（約 40℃）2L にクエン酸を小さじ 4 杯（約 20g）程度溶かす
（1L 当たり 10g 程度の割合の濃度です。濃度が高いと部品破損の原因になります）

2 クエン酸を溶かしたお湯に気化フィルター全体を約 1 時間浸ける
（お湯の温度は徐々に下がりますが、お湯は加えないでください）

3 次に別に用意した新しい水またはぬるま湯の中で、ふり洗いをして残った汚れや染み込んだクエン酸をよく落とす
ふり洗いで落ちない場合はやわらかい布でふき取る

4 水を入れ替えて 2 ～ 3 回繰り返す
（クエン酸の成分が残るとニオイの発生や故障の原因になります）

5 水分をふき取り、十分乾燥させてから本体にセットする

お願い

- クエン酸の臭いが発生するため、換気扇に近いところで、換気をしながら行ってください。
- クエン酸は薬局で市販されていますが、入手できない場合は、お買い上げの販売店でお買い求めください。
（部品名：ポット洗浄クエン酸 / 部品コード：32389024）
- クエン酸は食品添加物につき食品衛生上無害ですが、幼児の手の届かないところに保管してください。

（つづく）

お手入れのしかた（つづき）

交換時期

気化フィルターは消耗部品です。約４シーズン（約 20 カ月）を目安に交換してください。
● 1 日 7 時間 30 分運転の場合、気化フィルターの交換は、約 20 カ月に 1 回程度です。
● 1 日 10 時間運転の場合は、約 15 カ月に 1 回程度です。

ただし、地域の水質により極端に変化します。

次のような場合には、目安に関係なく交換してください。

●お手入れしてもニオイや水あかが取れない。
●お手入れしても運転時、タンクの水の減りが少ない。
●いたみや形くずれがひどい。

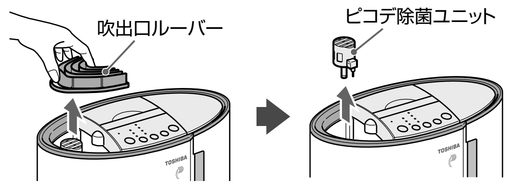
お願い ●使用済みの気化フィルターは、不燃物として廃棄してください。

ピコデ除菌ユニット（2 週間に 1 回程度）

●使用を続けるとピコデ除菌ユニットに白または茶色の水あかが付着します。水あかは水道水に含まれるミネラル分が気化せず残ったものです。お手入れせずに使い続けると固まって取れにくくなり、ピコデ除菌ユニットの性能が低下します。
●使用する水道水の水質によっては、早く水あかが付着する場合があります。
このような場合は、早めにお手入れしてください。

1 吹出口ルーバーをはずして、本体からピコデ除菌ユニットを取り出す

●吹出口ルーバーは、まっすぐ上に持ち上げてはずしてください。

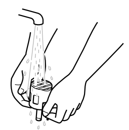


2 つけ置き洗いする

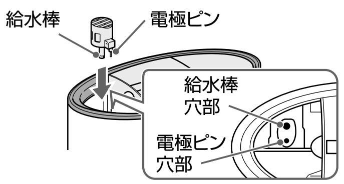
●ピコデ除菌ユニットを水に浸けます。
（半日程度 : 8 時間以上）



●水で洗い流します。



3 やわらかい布で水分をふき取り、十分乾燥させてから、本体に取り付ける



お願い

●熱湯で洗わないでください。
●洗剤は使用しないでください。
●ブラシやとがったものでピコデ除菌ユニットをこすらないでください。
故障の原因になります。
●保管するときは、水分を十分にふき取ってください。
カビ発生の原因になります。

汚れが取れないときは 15 ページを参照してクエン酸洗浄を行ってください。

保管のしかた

1 お手入れのあと、本体の水をふき取り日かげで乾かす

2 気化フィルター、ピコデ除菌ユニットの水をよくきり日かげで乾かす

メモ 湿ったまま保管するとカビの原因になります。

3 包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせ、湿気の少ないところに保管する

仕 様

※室内の温度、湿度の条件によって変わります。

形名	KA-G80DX	KA-G60DX
電源	交流 100V　50-60Hz 共用	
消費電力	連続加湿　390W	連続加湿　275W
加湿量	約 800ml/h	約 600ml/h
タンク容量	約 4L	
連続加湿時間（目安）	約 5 時間	約 6 時間 40 分
適用床面積（目安）	木造和室 22m²（13.5 畳） プレハブ洋室 37m²（22 畳）	木造和室 17m²（10 畳） プレハブ洋室 27m²（17 畳）
外形寸法	幅約 402mm ×奥行約 212mm ×高さ約 367mm（突起含む）	
質量	約 5.4kg	
電源コードの長さ	約 1.4m	
付属品	エアフィルター、気化フィルター、ピコデ除菌ユニット	

●加湿量・連続加湿時間は、※室温 20℃・湿度 30%・タンク満水の場合です。
●運転停止状態の消費電力は約 1W です。
●この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

消耗部品（お買い上げの販売店でお買い求めください）

形名	東芝加湿器用気化フィルター
KA-G80DX	KAF-8
KA-G60DX	KAF-7

● 気化フィルターは消耗部品です。約４シーズン（地域の水質により極端に変化します）を目安に交換してください。

	エアフィルター（東芝テクノネットワーク（株）扱い部品）
部品コード	46442619

● エアフィルターは消耗部品です。約 1 シーズン（約 5 ヶ月）を目安に交換してください。

気化フィルターの除菌

除菌・抗菌を行っている部分の名称 ……… 気化フィルター
試験機関 …………………………………… ㈶日本紡績検査協会
試験方法 ……………………………… JIS Z 2801、ハロー試験
抗菌・除菌の方法 ………… 気化フィルターに抗菌剤を加工

故障かな？と思ったとき

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。

こんなとき	原因	参照ページ
蒸気（霧）が出ない・見えない	この製品は気化フィルターに風をあてて湿った空気を送りだす方式のため、蒸気や霧は見えません。	2

（つづく）

故障かな？と思ったとき（つづき）

こんなとき	調べるところ	処置のしかた	参照ページ
運転しない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか。	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	9
	給水ランプが点灯していませんか。（タンクに水は入っていますか）	タンクに給水してください。	8
	給水ランプが点滅していませんか。	•タンクハンドルが確実に倒してあることを確認してください。 •吹出口ルーバーが確実に取り付けられていることを確認してください。	8 10
	加湿モードランプの連続ランプが点滅していませんか。	気化フィルター、トレイが確実に取り付けられていることを確認してください。	10 14
運転スイッチを「切」にしたのにすぐ止まらない	—	運転スイッチを「切」にしても送風ファンは運転を続けます。 約 60 秒間送風後自動的に止まります。	9
加湿モードランプまたは、省エネ運転ランプが点灯しているのに加湿が弱い（風が弱い）	—	お部屋の湿度が設定した加湿モードの湿度以上になっているため、弱運転をしています。さらに加湿したい場合は連続運転を選択してください。	10 11
風の出が少ない	おやすみ運転をしていませんか。	おやすみ運転の場合、送風ファンの回転をおさえますので風の出が少なくなります。	9 10
	吸気グリルのエアフィルターがほこりで目詰まりしていませんか。	エアフィルターのお手入れをしてください。	13
	気化フィルターに水あかやごみが付着していませんか。	気化フィルターのお手入れをしてください。	15 16
•加湿切換ができない •切タイマー運転ができない	給水ランプが点灯していませんか。（タンクに水は入っていますか）	タンクに給水し、給水ランプが消灯してから設定してください。	8~11
タンクに水があるのに給水ランプが点灯する	トレイが確実に本体に入っていますか。	トレイを確実に本体に入れてください。	14
	フロートが起き上がっていませんか。	フロートの向きを「上面」の文字が上にくるように直してください。	6
	本体が傾いていませんか。	本体を水平な場所に置いてください。	8
	トレイに直接水を入れたり、タンク、トレイに水を入れたまま持ち運んだりしていませんか。	タンクをはずし、一度トレイ内の水を排水し、再度タンクをセットして給水してください。	8 14
湿度が上がらない	部屋が広すぎませんか。	適用床面積の範囲でお使いください。	17
	窓、戸を開けていませんか。	窓、戸を閉めてお使いください。	—
ニオイが出る	気化フィルター、エアフィルター、トレイが汚れていませんか。（お部屋やタバコのニオイが気化フィルターに付着してニオイが出ることがあります）	気化フィルター、エアフィルター、トレイのお手入れをしてください。	13~16
湿度サインの表示がお部屋の湿度計の表示と違う	—	同じお部屋でも空気の流れや、温度差などにより湿度が異なることがあります。湿度サインは目安としてお使いください。	8
タンクの表面が結露する	—	コップに冷たい水を入れると表面が結露するのと同じ現象です。結露した場合は布などでふき取ってください。	8
気化フィルターがトレイにセットしにくい	気化フィルターの取り付け方向がまちがっていませんか。	気化フィルターは、トレイのガイドに合わせてセットしてください。	14
本体にトレイを入れるときや引き出すときに水がこぼれる	トレイに気化フィルターが取り付けられていますか。	トレイに気化フィルターを取り付けてください。	14
トレイの水に色が着く	—	トレイの水に茶色い色が着く場合があります。これは気化フィルターの添加剤によるもので、異常ではありません。そのままご使用になれます。	—

保証とアフターサービス

必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は　お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

電話で 24時間 365日 お応えします

お買い物・お取り扱いのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は　03-3426-1048
FAX　03-3425-2101（365日：8:00～20:00受付）

• 「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
• お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
• 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

● 保証書は、この取扱説明書の 20 ページに記載されております。
● 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
● **保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。**
● ただし、エアフィルター、気化フィルターは消耗品ですので、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

● 加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後 5 年です。
● 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

● 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
● 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

● 17 ～ 18 ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、運転スイッチを押して運転を停止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ		
	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）

長年ご使用の加湿器の点検を！

定期的に「安全上のご注意」「お願い」を確認してご使用ください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。

愛情点検

こんな症状はありませんか。

電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

● 水もれする。
● 本体が異常に熱い。
● 運転中に異常な音や振動がする。
● 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
● その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝加湿器保証書

持込修理

形名		KA-G80DX、KA-G60DX
★お客様	お名前	ふりがな 様
	ご住所	〒□□□-□□□□
	電話	市外　市内　番号　呼
保証期間	本体	1年　★お買い上げ日　年　月　日から
★ご販売店		住所・店名 電話

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝ホームテクノ株式会社　家電事業統括部
〒959-1393　新潟県加茂市大字後須田2570-1
電話（0256）53-2847

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理･改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
   （ト）消耗部品の交換。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のため取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝家電修理ご相談センターへご相談ください。

修理メモ　修理年月日	修　理　内　容	担当
年　月　日		
年　月　日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝ホームテクノ株式会社
家電事業統括部
〒 959-1393 新潟県加茂市大字後須田 2570-1

THT-CACE(TD)